

## 総合計画素案に対する意見と対応案

## 政策12 文化・歴史・自然に関する政策

## ①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	<p>・福井は美術館や美術展が少ない。触れる機会はあるが、こちらから触れさせにいかないと、文化を体験させるのは難しい。家庭環境によるが、子どもの頃に文化に触れる機会がないと、大人になっても触れない人が多いと思われる。どのようにして触れるきっかけを作っていくのか、気にしている。</p> <p>・全般的に、支援します、図りますと書かれているが、七総までやってきたことと同じレベルで行くのか、もっと力を入れていくのかがわかるように強弱、メリハリを付けていただきたい。八総では強化しますという書き方ができるものがあればしてもらいたい。</p>	<p>施策①-1について、「<u>子どもの頃から、誰もが身近に多様な文化芸術に親しみ、創作活動等に参加できる環境を…</u>」に変更。</p> <p>施策①-1について、「…創作活動等に参加できる環境を<u>拡充</u>します。」として<u>強い表現に変更</u>。</p>
2	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	<p>・ハコモノ、いい施設を作るというよりは、<u>プレーヤーを育てる方に力を注いでほしい</u>。ハコモノがあっても芸術家や表現する人がいなければ魅力的なものにならない。</p> <p>・<u>文化芸術活動をしている人に、市はこういうことを支援していますとか、こういうことをやってほしい</u>ということ伝えてほしい。</p> <p>・<u>環境としてのハコモノに加え、プレーヤーが育っていくことが重要</u>。</p>	<p>施策①-2について、「<u>文化芸術の担い手を育成し、未来に継承するため、市民や各種団体の活動を支援</u>します。」に変更。</p>
3	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	<p>・朝倉氏遺跡や養浩館などは一級品の価値がある文化遺産だと思うが、残念ながら地元の人ほどその価値を知らない。<u>地元の間人がその価値を知る、足を運び、体感するという活動が必要</u>。</p> <p>・福井市は文化のまちの面で押し出し方が弱った。福井がそこに全体的に力を入れることができれば、世界的にモデルになるような文化都市、教育都市を作れるのではないかと。</p> <p>・施策②-3に「市民自らが発信」とあるが、<u>誰が何をアピールしてくれるのか、焦点を絞った施策を打ってほしい</u>。</p> <p>・<u>この政策に共通するキーワードは「体験」や「経験」</u>だと思う。それを前面にアピールすることで、もっと浸透しやすくするのはないか。子どもも体験、経験ということがしっかり入ってくると腹に落ちやすいと思うので、そこは意識しながら進めていただきたい。</p>	<p>・施策②-1について、「<u>一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園、大安寺、越前海岸の水仙畑の文化的景観などの未来に誇れる福井の豊かな歴史や文化について、地域と協力し魅力向上・普及啓発に取り組み</u>ます。」に変更。</p> <p>・施策②-3について、「<u>福井固有の歴史・文化の価値を地域住民が体感し、自ら福井の魅力を発信</u>できるよう、意識の醸成を図ります。」に変更。</p>
4	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	<p>・施策②-2の「<u>資料を適切に保存・管理し</u>」というのは当たり前ならなければならない話だと思うので、ここに無理して書く必要がない。</p>	<p>施策②-2から、「<u>資料を適切に保存・管理し</u>」を削除し、「<u>郷土の歴史や文化財を未来に承継</u>します。」に変更。</p>
5	施策③自然科学教育で子どもの夢を育てる	<p>・<u>施策③のタイトルが弱い気がする</u>。夢を育てるだけでなく、身につけていくような、人材が育っていくくらいまで強く、積極的に書いてもよいのではないかと。</p>	<p>施策③のタイトルについて、「夢」にとどまらず、将来の「生きる力」に繋げるとの意味を込めて、以下の通り修正する。</p> <p>施策③「自然科学教育で子どもの夢を育てる」 ⇒「自然科学教育で<u>創造性豊かな子どもを育む</u>」</p>
6	施策③自然科学教育で子どもの夢を育てる	<p>・施策③の「<u>連携の強化</u>」の部分には、一番大事な「<u>地元企業</u>」が漏れている。子どもたちが地元の産業、企業を見直して、福井に住み続ける、Uターンしてくるということにつながるのだから、力を入れていただきたい。</p> <p>・施策③は、政策13の学校教育のキャリア教育プログラムと連携すべきではないか。高校では理数系に力を入れている所もあるが、高校や中学校では連携すべきではないか。</p>	<p>施策③-2について「<u>地元企業</u>」を追加するとともに、キーワードの「体験」「経験」を考慮し、「<u>大学、地元企業、JAXAなど、関係機関との連携の強化</u>を図ります。また、<u>県民衛星プロジェクトや最先端技術などに触れる学びの場を充実</u>することにより、子どもたちの夢や創造性を育みます。」に変更。</p> <p>政策13の施策①-3の部分において、「…<u>地域や企業とのつながりを重視</u>したキャリア教育の充実を図ります。」に変更。</p>

## 総合計画素案に対する意見と対応案

## 政策12 文化・歴史・自然に関する政策

## ②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・子どもたちに生(ナマ)を見せるのは極めて重要。演劇鑑賞や音楽鑑賞など計画されたものがあるが、予算的に厳しく縮小傾向にあることが危惧される。	フェニックス・プラザや県立音楽堂において、小学生を対象とした演劇観賞やプロの演奏を生で鑑賞する機会を設けており、今後も、引き続き実施をしていく。
2	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・巷ではストリートカルチャーが注目されつつあるが、そこまで文化芸術の振興に含めるのか。福井といえばこれというようなものを育てていこうという話なのか。それとも本物を持ってきて本物に触れる機会をたくさん作って出来上がりという話なのか。どちらを目指す予定なのか。	ストリートカルチャーも含め、多様な文化活動に触れる機会を設けていく。
3	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・今までよりも中身の濃い、大きな公演ができるような文化会館の整備構想があった。文化活動の中心となる施設も含めて整備する必要があると感じている。 ・博物館や美術館などの公共施設で、予算をつけて魅力的な企画展を行うこともあるが、民間が公共施設を利用してやりたいという意欲を広げることも大切。施設があれば、サンドームでやっているような大きな、魅力のある興行ができるということもあるので、そういうことも念頭に施設面も考えていくべき。	施設整備については、財政再建計画の進捗を見極めた上で判断するため、新文化会館整備基本計画を見直す中で検討していく。
4	施策①市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する	・福井は地味、調べないとすごさがわからない。施設整備などでは、民間の人の意見がどれくらい入っているのか。行政だけでやると、市民や県外の人との乖離が起りやすい。行政だけでやるのではなく、民間の人の意見が取り入れられたら、もっと魅力の強いものになるのではないかと。	事業を行っていく際には、プロポーザルやアンケート等を活用し、民間の人の意見を取り入れていく。
5	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・朝倉氏遺跡には小学生の頃に宿泊学習で行ったことがあるが、それ以降は行く機会がなかった。その後、行きたくても遠くて行けていない状況だった。小さい子どもでも簡単に行けるように、小学校・中学校・高校が連携して機会を作るとよいのではないと思う。	一乗小学校では、朝倉氏遺跡の観光ガイドを継続的に行っており、今年度は一乗谷朝倉氏遺跡等で実施される日本遺産イベントでPR活動を予定している。これらの活動を周知することで、ふくいの魅力発信に努めていく。
6	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・福井は越前海岸など水辺の景観がきれいで、それをサイクリングロードと合体して周遊させれば、県民の健康意識の向上や生涯スポーツにも役立つと思われるので、ご検討いただきたい。	政策11「観光に関する政策」において、観光資源の一つである「越前海岸」の磨き上げを行っていく。
7	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・巡回バスで文化遺産を巡るツアーをやったらよいのでは。	民間企業や各種団体のツアーに使えるよう、歴史遺産等の情報を積極的に提供していくとともに、日本遺産・連携中枢都市圏等の広域的な取り組みの中で、モニターツアー等を活用し、周遊ルートの提案を進めたい。
8	施策②歴史や文化遺産を保存・継承し活用する	・朝倉氏遺跡は保存協会が民間の立場で精力的に活動している。民間団体としての保存協会の活動では限界があるため、行政の支援が必要だと感じる。例えば山城が注目されてきているが、行政が予算をつけて人を呼び込めるための環境整備をしていくことが必要。そういう施策に行政の支援をお願いしたい。地元の方々の努力を吸い上げる方向性を追及していただきたい。	県や市、観光団体等で組織する一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会において、山城の案内板設置や、登山道の整備、案内パンフレットの作成などを行っている。今後も、引き続き山城へ人を呼び込めるための環境整備を行っていく。
9	施策③自然科学教育で子どもの夢を育てる	・セーレンプラネットの8Kの映像施設は、学習としての星の観察だけの利用では、また家族で行こうということにはなりにくい。宇宙科学の分野で、実物はこうだというようなものを上映できるようにしてもらいたい。提携しているのなら、ロケットの打ち上げやJAXAがかかわるもの、月食や日食などリアルな天体のものをデータの提供を受けて、パブリックビューイングを開催するような思い切った施策をお願いしたい。まだ魅力が伝わっていないように感じている。	技術的な課題が多く全天周映像でのリアルタイム投映は難しいが、通常画面でのパブリックビューイングを実施している。今後もJAXAと連携を図りながら、子どもたちが最新の宇宙科学に接することができるような取り組みを進めていく。



# 政策12 文化、歴史、自然に関する政策

## 文化や歴史、自然を、郷土の誇りとして未来につなぎ、個性豊かな魅力あるまちをつくる

- 市民が優れた文化芸術に触れる機会を創出するとともに、文化芸術活動を支える人材育成の支援と環境整備に努めます。
- 郷土の文化財や伝統文化を大切に保存し、豊かな歴史や文化、自然を将来に残すとともに、福井の誇りとして継承していきます。

### 現状

人々の価値観やライフスタイルの多様化が進むとともに、心の豊かさが求められる中、文化芸術活動の果たす役割はますます大きくなっています。

このような状況をふまえ、市民が気軽に文化芸術に触れ活動に参加できるよう、人材育成や環境整備を図る必要があります。

また、地域の活力やまちの個性が強く求められる中、郷土の歴史や文化に対する市民の理解を深め、歴史的価値が高い文化遺産や伝統行事を福井の誇りとして継承していく必要があります。

少子高齢化や若年層の都市部への流出が進み、地域の文化や歴史、自然を守る人材が不足するなど、文化財を取り巻く環境は全国的に厳しさを増しています。このような中、文化財の保存はもとより、活用を推進するため地域と連携した総合的・計画的な体制づくりが求められています。

本市の産業や日本の科学技術を支える人材を育成するため、身近な郷土の自然や最先端の科学技術の学習を通して、子どもの自然科学に対する興味を育てることが求められています。

### 課題

①多様な文化芸術活動の振興

②歴史や文化財に対する市民の理解と意識の向上、貴重な文化遺産の未来への継承

③子どもが郷土の自然や最先端の科学技術に触れる機会の充実

### 施策

① 市民の心を豊かに育む文化芸術を振興する

1. 子どもの頃から、誰もが身近に文化芸術に親しみ、創作活動等に参加できる環境を拡充します。

2. 文化芸術の担い手を育成し、未来に継承するため、市民や各種団体の活動を支援します。

② 歴史や文化遺産を保存・継承し活用する

3. 一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園、大安寺、越前海岸の水仙畑の文化的景観などの未来に誇れる福井の豊かな歴史や文化について、地域と協力し魅力向上、普及啓発に取り組みます。

4. 郷土の歴史や文化財を未来に継承します。

3. 福井固有の歴史・文化の価値を地域住民が体感し、自ら福井の魅力を発信できるように、意識の醸成を図ります。

③ 自然科学教育で創造性豊かな子どもを育む

5. 足羽山をはじめとする郷土の自然について、誰もが楽しみながら学べる環境の充実を図るとともに、子どもたちの興味・関心が高まる取組みを推進します。

6. 県や大学、地元企業、JAXAなど、関係機関との連携の強化を図ります。また、県民衛星プロジェクトや最先端技術などに触れる学びの場を充実することにより、子どもたちの夢や創造性を育みます。

## 総合計画素案に対する意見と対応案

## ①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・自分がどう生きたいかを自ら発信できるようにするのが本物の生きる力だと思うが、そこが抜け落ちているような気がする。</p> <p>・自分がどう生きていくかを自ら考え、できれば行動する、そういう力を持ってもらえるような教育という視点が重要ではないか。</p>	<p>施策①-5に記載していた「生きる力」に関する施策を、施策①-1の部分に記載場所を変更した。</p> <p>また、「家庭・地域・学校が連携し、子どもたちが未来を切り拓くために必要な「生きる力」や「豊かな感性」を育成します。」に修正。</p>
2	施策①子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・幸福度ランキングでも福井は国際についてはランキングが低い。新幹線開業後に外国人が来県すると英語がツールになってくる。英語を話せないと企業に採用されない時代にもなってくる。英語教育に力を入れていただきたい。</p> <p>・市民として将来を担う、主権者として担うという観点が弱いように思う。この計画が始まるころには18歳成年が完全に施行されている。そうすると、中学校卒業までにある程度の公民教育を達成しなければならない。小学校から中学校の発達段階に応じた主権者教育を取り組んでもらいたい。これはキャリア教育と大部分が重なっており、無理なく両立できると思われる。その観点をどこかに反映してもらいたい。</p>	<p>施策①-2について、「国際理解を深め、世界の中のふくいを意識した教育を推進します。」に修正。</p> <p>施策①-3について、「子どもたちに夢や希望をもたせ、ふるさとふくいを誇りに思える気持ちを高めるために、地域や企業とのつながりを重視したキャリア教育の充実を図ります。」に修正。</p>
3	施策①子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する	<p>・インクルーシブな感性が見えてこない。具体的な施策で出せるのかどうかはわからないが、その意識を出してもらいたい。生きていく上での基本的な所がベースにあり、全ての人間を大事にし、それぞれの個性を認めていく、それを道徳と絡めたらどうか。そこは社会づくりの中でみんなが意識できるようにしっかり施策をしていくことを求めている。</p>	<p>施策①-4「児童生徒が抱える学校生活上の様々な問題に対応するため、支援員を学校に配置します。」と、施策①-5「不登校やいじめなどの問題の解消を図ります。」を統合し、以下のとおり修正。</p> <p>「不登校やいじめなどの問題や気になる子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するため、支援体制の充実を図ります。」</p>
4	施策②子どもの健康増進を図る	<p>・新たな学校給食センターも含めた大きな方針、それによって学校給食の提供がどう変わるのか、どう改善されるのかを書くべきではないのか。安全・安心でおいしい学校給食を提供するのは当たり前なので、もう少し上のレベルのことを書いてもよいのでは。</p> <p>・より安全な給食を提供するための施設であるということを表現し、より充実していくことを主張してほしい。</p>	<p>施策②-2について、「安全・安心で心温まる学校給食の提供と子どもの成長を育む食育を推進します。」に修正。</p>
5	施策④学びの場としての学校環境を整備する	<p>・学校環境としては、老朽化とともに新しくしていく中で、近年の猛暑への対策、トイレの洋式化など、現代にマッチした内容にしていかなければならないと思うので、計画的にしっかりやっていくというプランでお願いしたい。</p>	<p>施策④-1について、「気候変動や感染症対策などに対応できる学校環境整備や施設の計画的な老朽化対策、維持管理を進めます。」に修正。</p>

## 総合計画素案に対する意見と対応案

## ②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策②子どもの健康増進を図る	・小学生のころ、なぜこの子が食べられないのだろうという疑問があり、嫌がらせを受けている子がいた。 <u>アレルギーについての理解を深めるような教育が必要だ</u> と思う。	食物アレルギーについての理解を深めることについては、 <u>学校で行われている食に関する指導の中で取り組んでいきたい。</u>
2	施策②子どもの健康増進を図る	・児童生徒の体力について、全国的には上位だが、視力低下や肥満児の増加は懸念。 ・ <u>幼少期からのスポーツへの接し方は大きな課題ではないか。それが将来的には競技力、生涯スポーツにもつながる。保護者の意識へのかかわりも含めて課題と考えるべきではないか。</u>	教科教育の中で、 <u>競技力だけではなく、「わかる・できる・かかわる」など生きる力の育成を目指し、楽しい体育の実現に努めていきたい。</u>
3	施策②子どもの健康増進を図る	・体力に関して、コロナが2年続くことは想定していなかったが、 <u>子どもたちの体力、健康面への影響のモニタリングによる子どもの体力低下の把握と、それへの対応ということも盛り込んでよいのでは。</u>	児童生徒の実態については、 <u>体力テストの結果や市学校保健会より児童生徒の肥満度、視力、虫歯等の健康状況を合わせて分析し、把握していきたい。</u> 対応については、 <u>児童生徒の実態を鑑みて、各小中学校で実態に合った体力づくりに向けた取組を計画していきたい。</u>
4	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	<u>通学路の危険個所の改善について、市としては地元自治会からの吸い上げの努力をしていただきたい。</u>	各学校で設置している「 <u>地域・家庭・学校協議会</u> 」に新たに地元自治会等からも参画してもらい、 <u>意見を吸い上げるよう学校に働きかけていきたい。</u>
5	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・安全の視点でお願いしたいのは、 <u>交通安全に対する学校での教育が必ずしも十分ではないことを感じている。学校でも、子どもへのかかわりと保護者へのかかわりをしていただきたい。</u> ・ <u>自転車の乗り方に対する取り組みが小学校で甘いと感じている。</u> ・ <u>自転車に乗れていない子に対して、自転車の乗り方を教える回数を増やした方がよい。</u>	<u>交通安全講習会(教室)については、学校において年1回行っている。関係所属と協議しながら保護者への啓発を行っていきたい。</u> <u>交通安全講習会(教室)を複数回開催することについては、学習指導要領の改訂による授業時数の増加も考慮しながら、関係所属と協議していきたい。</u>
6	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>行政としては安全性を確保できる道路整備、通学路整備が重要。</u> ・ <u>自転車通学の子どもが安全に走られる環境整備が必要。</u>	<u>安全な通学路整備については、福井市通学路安全プログラムに基づく合同点検で現地確認等を行いながら改善の実施検討を行っており、今後も警察や道路管理者等関係機関と連携しながら、この取組を継続していきたい。</u>
7	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>市P連はシートベルトの着用について何かできないかを考えているので、関係機関と連携を図っていくことも含めて、学校教育として施策を考えてもらえたらと思う。</u>	<u>警察などの関係機関と連携しながら、交通安全啓発の活動が効果的なものとなるよう考えていきたい。</u>
8	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>コロナ禍によるコミュニケーション能力の低下が心配。インターネットの適正利用にもかかわるかもしれないが、力を入れていかないと怖いので、検討してもらいたい。</u> ・ <u>子どもが自宅で端末を利用する場合に、不適切なサイトへのアクセスをどう防いでいくかは大きな問題である。フィルタリングの一番の問題は、保護者の意識によるところが大きい。</u>	児童生徒や教職員に対し、 <u>インターネットの適正利用にかかる啓発活動(例:情報モラル教室の開催)の中で、コミュニケーションの重要性についても呼びかけていく。</u> また、 <u>保護者に対しても「情報モラル教室」への参加を呼びかけ、フィルタリング設定の重要性など、インターネットの適正利用について意識啓発を図っていく。</u>
9	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>子どものSNSでのやりとりを、保護者がしっかりと把握することが必要。</u>	市内全小中学校では、 <u>県教育委員会が策定した「ふくいスマートルール」に基づき、学校独自のルールを作成している。家庭においても、保護者と児童・生徒が話し合いながらルールづくりを行うよう促していく。</u>
10	施策③子どもの安全を守り、健全な育成を図る	・ <u>タブレット端末の利用は、子どもの発達段階に応じて適正に活用していくことが必要である。自らが情報発信する際のリテラシーも教育する必要がある。</u>	<u>タブレット端末を活用するにあたり、子どもの発達段階に応じた「情報モラル教室」を開催し、適正な利用を促していく。</u>
11	施策④学びの場としての学校環境を整備する	・ <u>学校規模適正化について、自治会連合会との関係や各種団体との関係もあり、一般行政部局のかかわりも一層必要になると考えているのでお願いしたい。</u> ・ <u>公民館も老朽化し順次建て替え、改修が進んでいくが、アンバランスな地域設計になりかねない分岐点に来ていると思われるので、総合的な視野から取り組んでほしい。</u>	学校規模の適正化については、 <u>学校規模適正化検討委員会の答申を踏まえ、学校の統廃合だけでなく、他の公共施設との複合化や地区の状況を十分に配慮した上で、しっかりと協議を進めていきたい。</u>
12	施策④学びの場としての学校環境を整備する	<u>ICTは、便利な道具としてだけでなく、時間と空間を超えて活用できるのが強み。それを外すと単なる便利な道具でしかなくなり、それでは教育効果は上がってこないと思う。</u>	<u>教育効果を高めるために、オンラインによる交流活動を充実させていく。効果的な活用について実践事例を増やしていく。</u>

政策13 学校教育に関する政策



健やかで自立心をもって未来を切り拓く子どもを育むまちをつくる

- 家庭や地域をはじめ、企業や団体と連携し、質の高い学校教育や学習体験を行い心身ともに健康な子どもを育てます。
- 安全で充実した学習活動が行えるように学校環境を整備します。

現状

少子高齢化の進行、グローバル化の進展や技術革新など、社会情勢がめまぐるしく変化する中、子どもたちがそれぞれの夢の実現に向け、個性と能力を発揮して力強く生きていくための教育が求められています。

本市では、学力体力全国トップクラスの教育環境のさらなる充実を図るため、ALT(外国語指導助手)の配置などによるグローバル人材の育成、ICTの活用などによる情報教育や、キャリア教育を推進しています。

また、児童生徒が抱える学校生活上の様々な問題に対応するため、支援員を配置しています。

学校給食では、安全でおいしい給食であることに加え、児童生徒が持つ多様な食物アレルギーに対応した給食の提供が求められています。

また、学校の内外において、子どもたちへの事故等为了避免するためには、危険箇所の改善等による安全な教育環境の整備が重要です。

今後多くの地域で人口減少・少子化が進行する中、子どもの学びの視点での学校規模適正化を基本としつつ、学校が地域の活動や活力に果たす役割を踏まえた対応が求められています。

課題

- ①社会の変化に対応できる児童生徒の育成
- ②児童生徒の体力向上と健康の保持増進、安全でおいしい給食の提供
- ③子どもの安全確保と健全育成
- ④学びの視点による学校規模の適正化の推進、充実した学校環境の整備

施策

- ① 子どもの生きる力を伸ばす学校教育を充実する
  - 1. 家庭、地域、学校が連携し、子どもたちが未来を切り拓くために必要な「生きる力」や「豊かな感性」を育成します。
  - 2. 国際理解を深め、世界の中のふくいを意識した教育を推進します。
  - 2. 子どもたちに夢や希望をもたせ、ふるさとふくいを誇りに思える気持ちが高めるために、地域や企業とのつながりを重視したキャリア教育の充実を図ります。
  - ICTを利用した学習やプログラミング教育を通し、ロボットやAIを活用する新しい社会(Society5.0)で活躍できる力を育成します。
  - 3. 不登校やいじめなどの問題や気になる子どもたちへの支援など、子どもたちや保護者が抱える様々な問題に対応するため、支援体制の充実を図ります。
- ② 子どもの健康増進を図る
  - 児童生徒の体力の維持向上と健康の保持増進に努めます。
  - 4. 安全・安心で心温まる学校給食の提供と子どもの成長を育む食育を推進します。
- ③ 子どもの安全を守り、健全な育成を図る
  - 通学路の安全を図るため、関係機関と連携して危険箇所の改善に取り組みます。
  - インターネットの適正利用にかかる啓発活動を推進し、生活習慣の乱れや犯罪被害の防止に努めます。
  - 家庭、地域及び関係団体が連携して、青少年交流や郷土学習、見守り活動などに取り組み、未来を担う子どもたちの健やかな成長を目指します。
- ④ 学びの場としての学校環境を整備する
  - 5. 気候変動や感染症対策などに対応できる学校環境整備や施設の計画的な老朽化対策、維持管理を進めます。
  - ICT環境の整備を進め、ICTを活用した教育を推進します。
  - 学校規模の適正化に向けた協議を進めていきます。

## 総合計画素案に対する意見と対応案

## 政策14 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

## ①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①市民の生涯学習を支援する	<p>・コロナ禍で孤独を感じているかどうかの調査を行ったところ、多くの人がいろんな世代の人と繋がりたいと思っていることが分かった。このような場として公民館を活用できるといい。</p> <p>・集まらずに済むものは、Zoomを使っているが、これだけでは地域コミュニティの希薄化につながりかねない。対面でやることとWebでやることの住み分けが必要。</p> <p>特に、公民館は対面型の施設として機能させてほしい。</p>	<p>施策①-2について「公民館において、幅広い世代に対して多様な学習機会や気軽に集える場を提供し、地域住民の交流を促進します。」に変更。</p> <p>※「新たな日常の実現に向け…」は削除</p>
2	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・イベントや大規模スポーツだけではなく、ベーシックな市民のスポーツ習慣の活性を図る視点が抜けているので、施策に盛り込んでほしい。</p> <p>・生涯スポーツを考えるにあたり、高齢者のことも考えないといけない。高齢者の方が運動がしやすい環境を整えることは課題である。</p>	<p>施策②-3について、「市民が生涯にわたり、スポーツを通して、心身ともに健康で活力ある生活が送れるようスポーツ活動の充実を図ります。」を新たに追加。</p>
3	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・競技人口の状況に照らして、既存のスポーツ施設を見直していくべき時期に入っている。スポーツ施設の効率的な活用を目指してもらいたい。</p> <p>・小中学校の体育館の予約は満杯な状態。市民ニーズに応じてスポーツ活動を活発化させていくためには、施設のキャパシティをどう確保していくかが重要。</p>	<p>施策②-4について「競技人口や環境の変化など時代のニーズに応じたスポーツ施設の整備を進めます。」に変更。</p>

## ②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①市民の生涯学習を支援する	<p>・子どもたちが公民館に足を運ぶ機会を作ることは、将来の地域を守る上で非常に重要。行政として中学生がもっと公民館に関わるように推進してほしい。</p> <p>・スマホを使えない高齢者世代にどう教育していくのかは行政の課題である。先生役を中高生が担うようにすれば中高生を公民館に関わらせることができる。</p>	<p>スマートフォンの操作については、今後も公民館教育事業「市民IT事業」の中で、講習会を行っていく。</p> <p>中高生の活用については、学校教育との兼ね合いをふまえながら、今後の事業展開の中で参考とさせていただく。</p>
2	施策①市民の生涯学習を支援する	<p>・福井の特色として、小学校区ごとに公民館が整っている地域は他県にはない。まちおこしのためにもっと公民館に予算を投入してほしい。</p>	<p>公民館の運営費に関する場合は、実施計画を策定する際に、盛り込んでいきたい。</p>
3	施策①市民の生涯学習を支援する	<p>・各地区の公民館で成人式のイベントをやっている。18歳となる時期をとらえ、地域の担い手であることを若者に伝えることが重要。</p>	<p>成年年齢が18歳となることに伴う対応については、公民館教育事業「青年教育」の中で検討していく。</p>
4	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・テニスをやりたい、となったときにその情報がまとまっていないので情報がほしい。</p> <p>・スポーツ活動情報のプラットフォームがあるとよい。</p> <p>・一人で筋トレができるような遊具がある公園などをまとめた地図があると便利。</p>	<p>スポーツ協会と連携し、各競技団体が開催する試合や教室の情報や、だれでも気軽に利用できるスポーツ施設の情報等を、ホームページなどを通じて広く市民に発信していく。</p>
5	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・福井をホームタウンにしているプロチームができてきたが、経営的に大変な状態である。市民の方がまとまって応援するようなスポーツ文化の醸成も重要。</p>	<p>応援文化の醸成に、積極的に取り組んでいく。</p>
6	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・子どもたちがスポーツに親しむ機会をもっと提供していくことが必要。各競技団体に任せるばかりではなく行政がスポーツに親しむ機会の入口を提供してほしい。</p>	<p>身近でスポーツ活動に取り組める出前講座など、学校や公民館等を通して広く情報発信していく。</p>
7	施策②市民の生涯スポーツを支援する	<p>・行政としてこういう方向を目指していくので、市民の皆さん、一緒にやりましょう、ということはないのか。どのようにスポーツの底上げをするのか。</p>	<p>これまでも、体操教室やファミリーミニマラソンのほか各競技団体、地区スポーツ団体を通じて各種事業に取り組んでおり、今後も、広く市民が参画できるようなスポーツ活動のさらなる充実を図っていく。</p>



# 政策14 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

## 市民が生涯にわたり、学習やスポーツに親しめるまちをつくる

●地域の人が気軽に集まることができる場の充実を図り、子どもから高齢者まで誰もが学習やスポーツに取り組み、生きがいを持って暮らすことのできる環境を整備します。

### 現状

人口減少の進行や感染症の感染拡大に伴い、地域コミュニティの重要性が再認識されている中で、地域の中核施設であり、災害時の活動拠点の役割も兼ね備えた、公民館への期待が高まっています。

本市の公民館は全国的にも高い評価を得ており、郷土学習についても、すべての公民館で積極的に実施されています。

図書館は、知識の宝庫として多くの市民に利用されていますが、高齢化が進行していることから、安全で快適な利用環境を提供するため早急な対策が必要となっています。

福井国体・障スポを契機として、市民のスポーツに対する関心は高まっています。また、「する」スポーツだけではなく、「見る」「ささえる」など、スポーツへの関わり方も多様化しています。

近年のスポーツ施設については、競技大会だけではなく、大規模な会議やイベント等が開催され、既存の枠組にとらわれない利用方法によるニーズが高まっています。

### 課題

①市民が集い活動する場の創出、郷土学習の充実

②それぞれのライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境の整備

### 施策

① 市民の生涯学習を支援する

- 市民の自主的な学習や多様な活動の拠点となる公民館のさらなる充実を図ります。
- 公民館において、幅広い世代に対して多様な学習機会や気軽に集える場を提供し、地域住民の交流を促進します。
- 福井の歴史や文化を学び体験する機会を提供し、地域への愛着を醸成します。
- 図書館において、本を読む・借りるだけでなく、市民が集い、学習し、交流できる環境づくりを進めます。

② 市民の生涯スポーツを支援する

- スポーツの持つ可能性を最大限に活かして、スポーツイベントの開催やスポーツ大会などの誘致を進めることで、スポーツを活かしたまちづくりを推進します。
- 県や周辺市町、民間事業者などと連携し、オール福井で大規模なスポーツイベントに取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。
- 市民が生涯にわたり、スポーツを通して、心身ともに健康で活力ある生活が送れるようスポーツ活動の充実を図ります。
- 競技人口や環境の変化など時代のニーズに応じたスポーツ施設の整備を進めます。